

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	犯罪被害者支援事業			560105	担当課	生活交通課		
	開始年度	平成24(2012)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	横山 晋			
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料	116	頁		
	施策の大綱	生活支援の充実			関連計画等	犯罪被害者等支援計画			
	施策名	情報提供・相談体制を充実させる			根拠法令等	犯罪被害者等支援法、福知山市犯罪被害者支援条例			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	犯罪による直接的な被害のみならず、その後の経済的・身体的・精神的等様々な被害を受ける犯罪被害者及びその家族に対し、見舞金や相談業務などにより経済的負担や精神的負担の軽減を目的とし支援を行う。 警察や京都犯罪被害者支援センターなど関係機関との連携・協力により、犯罪被害者等に寄り添った支援の充実と権利・利益の保護を行う。							
	対象者	市民	対象者数	80,000	一人当たりコスト	0.03			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	○犯罪被害者を支援するために本人及び遺族に対して、見舞金を支給する。 ○「公益社団法人京都犯罪被害者支援センター」の賛助会員となることで、民間支援団体への支援を行う。 ○警察や京都犯罪被害者支援センターなど関係機関との連携・協力による犯罪被害者等に寄り添った支援の充実を推進する。 ○犯罪被害者等が置かれている状況や名誉又は生活の平穏への配慮の重要性等について理解を深めるための取組を行う。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項 目		具 体 的 な 内 容			H29経費		
		旅費		京都府犯罪被害者支援連絡協議会 通常総会、支援担当者研修			15		
需用費		消耗品			4				
負担金補助及び交付金		京都犯罪被害者支援センター賛助会費			30				
扶助費		遺族見舞金、傷害見舞金			0				
関連事業	なし								
予算と執行の 状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		430	449	455			
		補正予算等・・・②		2	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		432	449	455			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.28/0	0.26/0	0.26/0	/			
	概算人件費・・・④		2,240	2,080	2,080				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,672	2,529	2,535				
執行状況	執行額・・・⑥		32	49					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		7.4%	10.9%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標		
		見舞金支給件数	件	0	0				
		単位あたりコスト				/			
		単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	○ 犯罪被害者及びその家族が受けた被害の軽減及び回復の支援は必要である。 ○ 利益性がなく公共性が高い事業であり、民間事業者が実施することは困難である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	○ 福知山警察署や京都犯罪被害者支援センター等の関係機関と連携・協力しながら取り組んでいる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○ 京都府下全市町で同様の施策を行うことが犯罪被害者やその家族への経済的負担の軽減のために有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○ 協定を締結している京都犯罪被害者支援センターや福知山警察と連携することで、犯罪被害者及びその家族に対する寄り添った支援の一助となるべく体制を構築している。	
	今後の課題及び方向性	○ 犯罪による直接的な被害のみならず、その後の経済的・身体的・精神的等様々な被害を受ける犯罪被害者及びその家族に対する支援は必要であり、「福知山市犯罪被害者支援条例」に基づき継続して支援を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		・自己評価をする際に、「必要な体制を整備した」と、「充実が図られた」ととの間には明確な違いがあることを踏まえること → 安易に「充実」や「有効」などとうたうのではなく、何がどのようになったのかを客観的に見定めること		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		